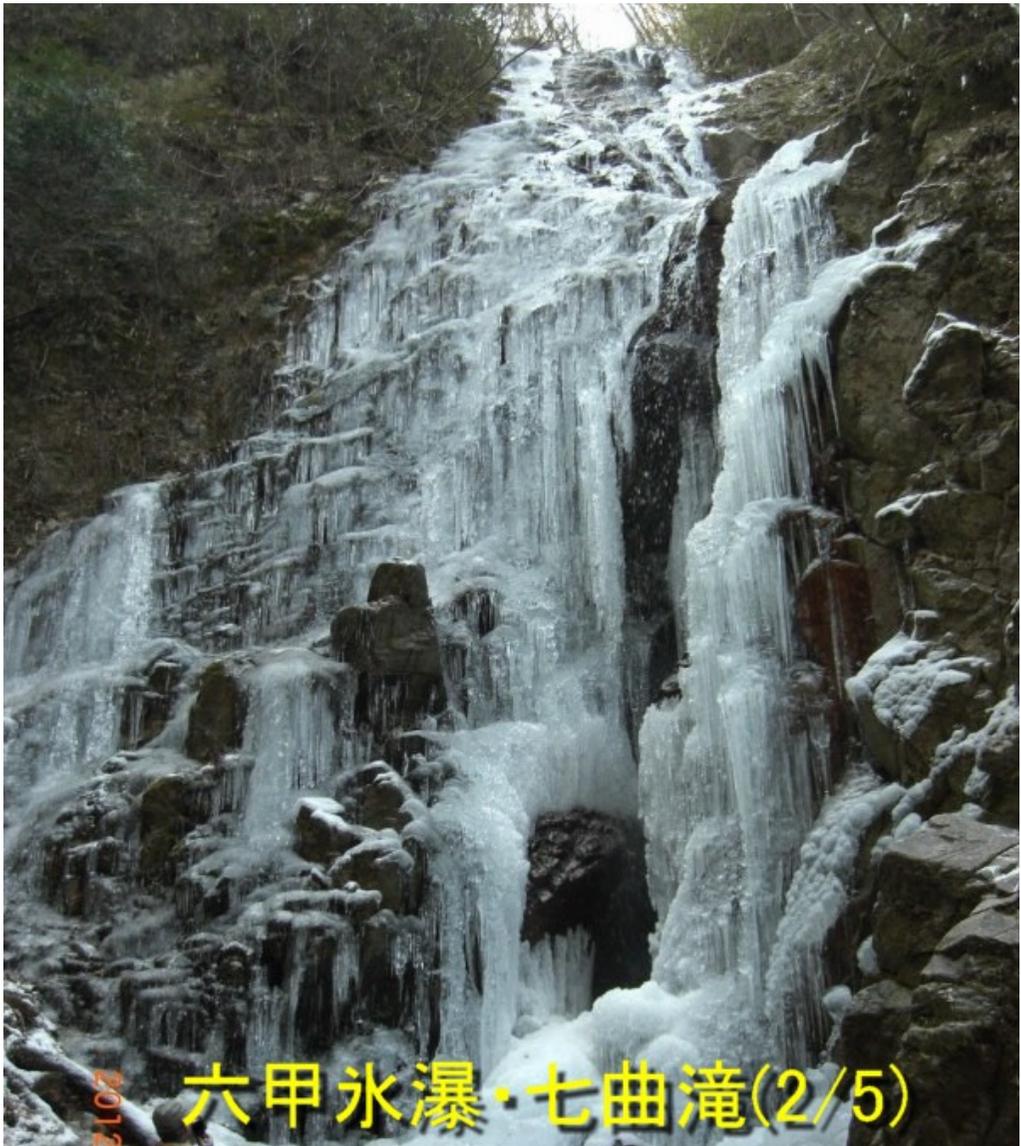


# 西大和つうしん

2012年 3月号  
No.357



2012 六甲氷瀑・七曲滝(2/5)

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第357号(2012年3月号)

## 【目次】

山行計画	-----	1
3月度・4月度カレンダー	-----	2
例会山行《1月22日》比良山系 堂満岳(林)	-----	3
平日山行《1月29日》大峰の山 観音峯山(玉越)	-----	4-5
平日山行《1月31日》淡路島の山 諭鶴羽山(今井)	-----	6
県連山行《2月5日》大峰の山 わさび谷～地獄谷(藤本)	-----	7-8
例会山行《2月5日》六甲の山 六甲・氷瀑(橋本)	-----	9
例会山行《2月12日》台高の山 三峰山(的場)	-----	10
室内例会だより	-----	11

## 3 月 度 山 行 計 画

～300m級の低山ながら、瀬戸内海を望みながらの岩尾根歩きは爽快！  
春の風を感じましょう！～

**3月11日(日)** 例会山行 播磨の山《播磨アルプス》(L:内田)

【集 合】上JR王寺駅 7:57発乗車

【コース】豆崎登山口(10:05)～豆崎奥山(10:30)～百間岩(11:15)～  
鷹巣山(11:50/12:35)～高御位山(13:15)～中塚山(13:50)～  
北池登山口(14:25)～宝殿駅(15:00)

※青春18きっぷを使います。近鉄利用の方はJR大阪駅 8:45 新快速姫路行  
乗車の上、加古川で普通に乗り換えて2 駅目曾根駅で降車

～早春の雪山から琵琶湖の大展望を～

**3月18日(日)** 例会山行 湖北の山《伊吹山》(L:藤本)

【集 合】上牧町役場駐車場 6:30

【コース】登山口駐車場(9:00)～六合目(11:00)～<冬道(直登)>～  
伊吹山頂(12:30/13:10)～登山口駐車場(15:30)

【帰宅予定】上牧町役場駐車場 18:00

～京都の北山、昭和8年に大雪のため離村になった廃村八丁から、  
品谷山へ登ります～

**3月24日(土)** 女性部山行 京都北山《品谷山》(L:勝尾)

【集 合】上牧町役場駐車場 6:30

【コース】菅原～ダンノ峠～分岐点～廃村八丁～品谷峠～品谷山(881m)  
～分岐点～ダンノ峠～菅原 《11km 約5時間》

## 西大和山の会 カレンダー

3 月		4 月	
1	木		1 日
2	金		2 月
3	土		3 火
4	日	県連定期総会	4 水
5	月		5 木
6	火		6 金
7	水		7 土
8	木		8 日
9	金		9 月
10	土		10 火
11	日	例会山行 播磨アルプス(内田)	11 水
12	月		12 木
13	火		13 金
14	水		14 土
15	木		15 日
16	金		16 月
17	土		17 火
18	日	例会山行 伊吹山(藤本)	18 水
19	月	原稿締切日	19 木
20	火		20 金
21	水		21 土
22	木		22 日
23	金		23 月
24	土	女性部山行 品谷山(勝尾)	24 火
25	日	総会・室内例会	25 水
26	月		26 木
27	火		27 金
28	水		28 土
29	木		29 日
30	金		30 月
31	土		

例会山行

比良山系 冬の<堂満岳>

【日 程】 2012年 1月22日(日)・曇り後快晴

【参加者】 L三島・SL島崎・藤井・勝尾・高橋・的場  
林・杉川

【コースタイム】 比良駅(9:15)～イン谷口(10:05)～大山口(10:30)～  
金糞峠(12:15/12:50)～堂満岳(2:00)1057mノタノホリ  
(3:35)～比良駅(4:25)

比良駅から歩き始めると共に、山の雲が切れて遠くに去り、冠雪で白く  
光る峰峰を見上げながらAS道をイン谷口へむかった。

天気予報は好天した。

イン谷口より上では雪道と成り、大山口の上からは、深雪と成りアイゼ  
ンを装着して、谷筋を堰堤に沿っての急斜面登りとなる。今日は風も無く  
気温も高く成り、皆大汗を掻きながらの登りと成った。

金糞峠までの途中、下に琵琶湖と沖島を振り返りながら峠に着き、雪の  
小広場では、眼下に琵琶湖とその奥に、冠雪の伊吹山、鈴鹿お山々を眺  
ながらの昼食を摂りました。

峠から山頂までの深い雪は新雪に近く、雪道に残るトレースを辿り、少  
し遠回りをしながら快調に登り、途中石楠花の群生や自然林の開かれた  
小ピークから、屈いた琵琶湖周辺の眺めを楽しみながら頂上へ。

山頂は以外に狭く、他のパーティーに気を使いながらも、360度の展  
望に、こんなのは初めてやなと皆で眺望を満喫して写真に納まるり。

下りは、予定時間が押して来たので、Lの判断で東稜線道を下る事とな  
る。その急斜面の雪原を、皆散々に足を取られて転がりながら、一気に麓  
まで下り、全員無事に、予定より少し早い電車に乗る事が出来ました。

冬山は天候次第と、つくづく勉強させられました。 (記:林)

平日山行  
大峰の山 ≪観音峯山≫ (1,347m)

【日 程】 2012年 1月 29日(日) 晴れ

【参加者】 L 島崎・S L 三島・藤井・林・勝尾・内田・多賀・藤本  
的場・高橋・杉川・玉越

【コースタイム】 観音峯登山口(9:55)～第一展望台(10:15)～観音平休憩所  
(10:45)～観音峯山展望台(11:20/12:00)～山頂(12:35)～  
≪三ツ塚手前途中折返し≫～展望台(13:35)～休憩所(13:55)～  
登山口手前分岐(14:30)～洞川バス停(15:35)

下市口駅から霧氷バスに乗って1時間ほどで観音峯山登山口に到着する。休憩所にはトイレもあり、ここでアイゼンを装着し準備体操をしておく。駐車場にはすでにマイカー登山者の車がたくさん停まっています、同じバスでやってきた登山者も多い。晴天で雪が眩しく、買ったばかりのサングラスをつけた。UVケアもばっちり。休憩所わきの吊橋を渡って、10時前にいよいよ出発した。

ゆっくりペースで20分ほど、杉植林の中を歩くと、第一展望台に着く。ここからは弥山の展望が望める。気温が高いので衣服調節をして再出発。小さい橋を渡って30分ほど山腹を登ると観音平に出る。鳥居をくぐると南朝ゆかりの神社跡に東屋が建てられており、しばし休憩する。石段を上がると大きな岩があり、「お歌石」と書かれてあった。つづら折りの登りで高度を上げていく。丸太で補強されて歩きやすくなっているが、急な登りに息が切れる。

東屋を出てから40分ほどで観音峰展望台に到着。石碑が建っていて、ここから弥山、稲村ヶ岳からバリゴヤの頭にかけての大パノラマが展望できる…はずだったが、このころには空が灰色になり雲が出てきて、残念ながらすっきりとは見れなかった。ススキの原を覆う雪をドスドスと踏んでスペースを確保し、お昼ご飯を食べる。今日はおしるこを持ってきた。温かくて甘いおしるこにほっとする。また次もおしるこにしようっと…

展望台を後にして、山頂に向かう。ガスが出てきて小雪が舞いはじめる。左に植林、右に自然林の道を登っていく。霧氷がついている。寒くても風がないと霧氷が育たないそうだ。細い枝に白い霧氷が伸び、触れてはいけな高価なシャンデリアのように感じる。山頂付近は踏みしめる雪も質感が変わり、ギョッギョッと心地よい音がする。30分ほど霧氷の林を歩くと、山頂に着く。このまま三ツ塚を抜けて法力峠・洞川温泉へ下りるコースもあるが、今回は三ツ塚の手前で折り返す。

登ってきた道を下る。はじめてアイゼンを使ったので、なかなかコツが掴めず、へっぴり腰で恐る恐る下る。洞川温泉のバス停から乗車するために、登山口の手前の分岐を右に出て、道路わきをしばらく歩く。途中広場でアイゼンをはずして、御手洗溪谷遊歩道に入る。早足で歩いたので、なんとかバスに間に合った。ゆったり座れて、ぐっすり眠った。電車への乗り継ぎでアクシデントがあったが、皆無事に帰れてよかった。

(記:玉越)



平日山行  
淡路島の山 《諭鶴羽山》

【日 程】 2012年1月31日(火)

【参加者】 CL 辻・SL 杉村・三島・村田・内田・今井

【コースタイム】 諭鶴羽ダム(9:00)～諭鶴羽山(10:30/11:30)～  
諭鶴羽神社(11:45)～灘黒岩(12:50)

登山口から階段を登り暫くの急登を過ぎると、気持ち良く歩ける尾根道(裏参道)で、丁石やお坊さまが休んだ所だと言う坊さま角等の案内板を見たり、青空を見上げたりしながら、ゆっくり山頂をめざします。山頂からは明石海峡や四国の山々、そして我が町の二上山を探せる程のいいお天気です。残念ながら私には二上山は確認出来ませんでした。

早めの昼食後、DRのTさんは私達の為に来た道(裏参道)へ、私達は表参道を黒岩水仙郷へ下ります。諭鶴羽神社では親子杉やアカガシの群落を見る事が出来また途中、椿や畑のみかんの色を楽しみながら下りてるとTさんから着いてるとの電話が入り、急いで合流して水仙郷へ。

今年は花が少なかった！残念！ 入場料返して～って感じでした

水仙を楽しんだ後は、海岸で波を気にしながらMさんが用意して下さったぜんざいに舌つつみ(Mさんごちそうさまでした)、その後Mさんの提案でたこせんの里に行く事になりました。

たこのせんの里ではサービスのコーヒー、試食のたこせんべいを頂き、お土産を買い満足しながら帰路につき、淡路ハイウェイオアシスでもまたまたお土産を買い、とっても楽しいドライブ旅行でした  
ありがとうございました。 (記 今井)

県連ハイキングリーダー学校  
卒業訓練(雪山)山行

大峰山系:ワサビ谷～地獄谷:シェイクスピア氷瀑群

【日 程】 2月5日(日)晴のち曇

【参加者】 勝尾・藤本・他にリーダー学校コーチ、奈良労山、  
こぶしの会より各1名の計5名

【コースタイム】ワサビ谷林道ゲート(9:29)～地獄谷分岐(9:49)～  
アイスガーデン(10:30/45)～地獄谷左俣の氷瀑(12:00/21)  
～シェイクスピア氷瀑群(13:25/14:50)～ワサビ谷林道ゲート  
(16:57)

インフルエンザで自宅待機を命じられ2日目、週末のハイキングリーダー学校訓練山行の連絡が入る。「大峰のシェイクスピア?」:一瞬耳を疑った:「ウソだろ?」というのが正直な気持ちだった。山岳信仰の聖地としての大峰とはもう一つ別の顔。壮大な氷瀑群が大普賢直下にあり、アメリカなフリークライミングの流れをくむアイスクライマー達が通うと聞いていた。雑誌などに紹介されるその美しくかつ迫力ある姿に、「いつか行けたら」との思いはあったが、一般ルートからはずれた沢沿いのコース、しかも厳冬期に。とても無理だとあきらめていた。そこへ明後日に行くというのである。ゆっくり養生などしている場合ではない。熱が下がってから3日目に待機解除とのことだったので、翌日さっそく実家へ赴き、神棚と仏壇の前で「滑落しませんように、生還できますように」と祈念、心の準備を整えた。

当日朝は快晴。大台ドライブウェイに入ってすぐの林道ゲート前には、すでにずらっと車が並び、テントも張られていた。暗い谷の奥に大普賢岳が高くそびえ真っ白に輝いている。しばらく雪の林道を進み、ワサビ谷本溪から地獄谷が別れるあたりで左の山道に入る。すでに何人もが氷瀑へ向かったのだろう、トレースがしっかり道になっている。ややあって、右側地獄谷対岸に大きなつららが現れる。コーチによれば、クライマーたちはこのつららの大きさと上流の氷瀑の状態を推測するそうだ。今日は期待できるとのこと。さらに歩を進めると左手の急斜面の上に小氷瀑を登る人影が見える。これがアイスガーデンと呼ばれる、初級クライマーのゲレンデ。アイゼンなしでこの斜面を登るのに一苦労。もちろんこれも訓練なのだが、特に露出した岩が凍っている場所を通過するのは怖かった。そのあとは膝まで雪に埋もれながらがむしゃらに登ってようやく滝前にた

どり着く。氷瀑の高さは 10m程度か。二人のクライマーが交互に登るのをしばらく見学してからもとの道へ戻る。さすがにこの下りからアイゼンを装着させてもらった。それでも怖くて足がなかなか前へ出ず、依然アイゼンなしのコーチに大いに後れをとる。再び地獄谷沿いを進み、左俣の 20m程度の滝を見たのち右俣との分岐に戻る。この左右の谷の間に大普賢岳頂上へ突き上げる左俣右ルンゼがあり、100mに及ぶ最大の氷瀑「グランド・イリュージョン」がかかるが、当然我々のいけるところではないらしい。さて、右股の谷へ入るとすぐに対岸へのトラヴァースがあり、幸い川身に降りての渡渉がかなう。ふつうはさらに高度のある凍った大岩の上を通過せねばならぬところで、ここがコース最大の難関とのこと(神様・仏様ありがとう)。すこし進んで、ロープのある岩場の登り。念のため各自シュリングを腰に巻きザイルで確保してもらって、一人ずつ通過する。そこからF4(Fは fall「滝」の略で下から順に番号がついている。)を左へ巻き、そのあとはものすごい(と思った)傾斜を必死で登りに登る。すると目の前に、大きなルンゼを取り囲むようにして、F7「シェイクスピア」が姿を現す。左から「ハムレット」(35m)、「リヤ王」(40m)。一番右の「マクベス」(35m)は途中がつながっておらず、そこから落下したとみられる巨大な青い氷塊がルンゼに横たわっていた。しばしの間、まさに大自然の凍れる芸術とクライマー達との競演を、この野外劇場で鑑賞する。

下りはそれこそとんでもない(と思えた)傾斜を、慎重に下る。いや、慎重すぎて進まない私に「重心を前に!」「アイゼンつけてるんだから、思い切って!」「滑ってもどこかで止まるから」とコーチ。そのとき、私の直後を下っていたこぶしの会のMさんが滑って下のくぼみに落ち、ストックを折った。すると今度は上からKさんが落ちてきた。たしかにコーチのおっしゃるとおり「危険」ではないのだろうが、斜度が斜度だけにやはり怖い。しかも、最近また増えてしまった私の体重でストックがしなる。そんな中、今日初めて使ったピッケルの頼もしかったこと。これがなかったらもっと時間がかかっていただろう。かように悪戦苦闘する私たち。これに追い打ちをかけるように「滑落停止練習をしましょうか」「最後の下りはアイゼンを外しましょうか」などというコーチの声は聞えないふりをして、なんとか無事下山。

こうして5月に始まったハイキングリーダー学校の全課程は終了した。終始おのれの知識と技術のなさを痛感しつつけた一年だったが、この最後の山行で火がついてしまった。「ピッケル買おう」「来年の冬は「グランド・イリュージョン」までいくぞ」くらいはまだいいとして、「あと 30kg 減量したらアイスクライミングできるかしらん?」と大真面目に考える自分が怖い。

(記:藤本)

例会山行  
六甲の山 《六甲・氷瀑》

【日 程】 2012年 2月 5日(日) 晴れ

【参加者】 L 田中悦・S L 藤井・島崎・多賀・林・辻・内田・杉村  
田中初・高橋・橋本・杉川

【コースタイム】 有馬温泉駅(9:10)～ロープウェイ駅(9:36)～七曲滝  
(10:26/10:35)～百間滝(11:15/11:20)～極楽茶屋  
(12:25/13:03)～一軒茶屋(13:47/13:55)～雨が峠  
(14:50/14:57)～風吹岩跡(15:40/15:50)～高座の滝  
(16:34/16:38)～阪急芦屋川駅(17:12)

近日の厳しい寒さで有馬温泉駅近くの噴水の水がしっかり凍っていましたが、この日は雲一つない青空で上着を脱いでの出発となりました。

雪も少なく、ところどころ凍っていましたがアイゼンの装着なしで七曲滝、百間滝まで行く事が出来ました。

大勢の人で細い道でのすれ違い大変でしたが、迫力ある滝をみる事が出来ました。

極楽茶屋までの途中、少しの間アイゼン装着での歩行でした。  
一軒茶屋からの下りが本当に長く、最終のロックガーデンは足の疲れもあるので注意しながら下山しました。

いつもこのような行程なのかなと、不安になりましたが「今日はハード」だと聞き少し安心しました。

私は今まで冬の間は山登りを休んでいましたが、初めてアイゼンをつけ、氷瀑を見ることが出来本当に参加して良かったです。

歩行時間が長く大変でしたが、厳しい寒さが一段落し青空が広がり最高の山行日よりとなり楽しい一日でした。 (記:橋本)

例会山行  
台高の山 《三 峰 山》

[日 程] 2012年2月12日(日)・曇り時々晴れ

[参加者] L 林・島崎・多賀・窪田・都築・勝尾・藤本・内田・  
杉川・阪口・今井・的場

[コースタイム] 青少年旅行村(10:15)～(登り尾 コース) 避難小屋  
(11:00)～山小屋(12:00/30)～山頂(12:57)～八丁平(13:08)  
～避難小屋(14:00)～青少年旅行村(14:52)

榛原駅に着くと、高見山や三峰山の樹氷を見る目的の登山者が、行列をつくってバスを待っていた。午前9時頃、当会の参加者もだいたいそろったところでバスは出発した。1時間ほどで、みつえ青少年旅行村に到着。準備をして出発。

少し林道歩いてから、登山道に入る分岐でアイゼンを装着。この冬、何回目かの雪山なので装着も慣れてきた。三峰山の登山道は、急登がそれほど続かないので、息もそれほど上がりず、なんとか登れる。1時間ほどで避難小屋に着いた。林道が真横にあり、ロープで通行できなくなっているが、ここまでは自動車に入れるようである。避難小屋で一息入れてから出発。

標高が高くなるにつれ、風も冷たい。汗かきの私にも、少し寒かった。正午ころ頂上に近い山小屋に到着。今日は少し風もあり、頂上ではちょっと寒いので、この小屋で昼食となった。中は昼食をとる登山者でいっぱい、席を取るのも大変である。小屋の外で食べている人もあった。どの人もカップラーメンでの昼食である。30分ほどで昼食を終え、頂上に向かう。30分ほどで頂上に着く。雪もまずまずあり、樹氷も見ることができました。頂上で記念撮影。すこし景色を楽しんで、八丁平に下りる。

風がなければ八丁平は、絶好の休憩場所になるのだが、風の通り道なのか、いつも風がある。少し下山すると高見山が見えた。新道コースを下山する予定であったが、バスの都合もあるので、来たコースを下ることとなった。午後3時ごろに青少年旅行村に到着した。

山の会の山行である。いい調子で登れたのではないかと思います。バスの出発を待ちながら、各自露店でお酒や草もち買いながら、皆さん山の話に花が咲いていました。いつもリーダーやっしてくださる方に感謝。ありがとうございました。(記・的場)

## 室内例会だより

【日 時】2012年1月25日（水）19：30～20：30 事務所

【出席者】島崎、田中悦、田中初、多賀、林、辻、都築、三島、藤本、高橋、村田、勝尾、杉村、内田、的場、阪口、今井、橋本、（高田）、藤井（20名）

### 1、山行報告

12月24日（土）自主山行 布引山地 錫杖ヶ岳 L島崎 6名  
1月 1日（日）自主山行 初日の出山行 明神山 L都築 5名  
1月 8日（日）例会山行 比良山系 蛇谷ヶ峰 L多賀 14名

### 2、山行案内

1月31日（火）平日山行 淡路島 論鶴羽山 L辻  
2月5日（日）例会山行 六甲氷瀑 L田中悦  
2月12日（日）例会山行 台高 三峰山 L林

### 3、連絡その他

- ・ 3月4日（日）13：00～  
県連総会 生駒図書館
- ・ 1月24日（火）  
救助隊総会 多賀さん出席されました。  
救助隊規定改定案が出されました。
- ・ 新旧運営委員の引継ぎを行ないます。  
2月1日（水）19：00～